

## 形原地区公共交通協議会が エコモビリティライフ推進表彰を 受けました！

車と電車やバス、自転車、徒歩を使い分けて環境にやさしい交通手段を利用する「エコモビリティライフ」。支線バスの導入・利用促進について、地域主体で取り組み、地元の方や高齢者が使いやすくルートやダイヤを工夫したことが評価されました。



天野忠則会長 壁谷権一朗事務局長

お持ちですか？

ポケット版時刻表  
くるりんバス便利帳



目的の場所へはどのバス停で降りて、徒歩で何分かかるかがすぐ分かる便利帳。事務局長を務める壁谷権一朗さんが、62カ所すべての場所を、3日かけて実際に歩いて計測しました。

「始めはバス停を基準に便利帳を作ろうとしていたけど、長寿会の意見を聞いて目的地を中心に作りました。バスの運行には長寿会や民生委員と意見交換をして、一番利用するだろう人たちに使いやすくなるように考えました」と壁谷さん。

形原公民館に意見箱が設置されているので、皆さんもご意見をお寄せください。

くるりん名物

運転手 かね一タクシー

中田繁二さん



くるりんバスの運転手は中田さんが専属で任されています。元タクシー運転手。常連さんは

くるりんバスが走っている週3日は必ずこれに乗ってユトリーナへ行っています。



誰がどこまでか覚えてるし、「形原駅は時間ぎりぎり着いてしまうと、線路を渡らなければいけない蒲郡方面に乗れなくなってしまうから余裕を持って」など、ルートの中で時間調整もなんのその。

「形原の街を走っている姿を見かけたとき「こんなものもあるんだなあ」と興味を持ったら1回乗ってもらえたらいい。そして乗った人は「私も乗ってるよ」と言ってくれば宣伝になる。乗ったらお得だと思うよ。ほかの地域でも活性化の形として広がってほしい」